

# ももだにプロジェクト（ももフロ）の取り組み

## 「生きる力」の育成

育成したい能力を育てる授業づくり

各教科の特性を活かし以下の4つの基礎的汎用的能力の育成にアプローチしていく

①人間関係形成・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力  
③課題対応能力 ④キャリアプランニング能力

自主性や自己有用感を育むために

○学校外活動での単位認定（高認や各種の資格検定試験など）を通じて、生徒のキャリアアップを図る。  
○生徒会活動やクラブ活動などを通じて、コミュニケーション能力の向上や、自主性・成功体験・自己有用感を育む。

受講ガイダンス\*の充実

○進路実現に必要な学習をプランニングする能力を育成  
○自己の学習状況を理解し、その課題に対応する能力の育成  
○生徒の興味・関心から個別の学習計画のサポート  
\*受講ガイダンス…生徒が個々の時間割を作成するための事前指導

特別支援教育を必要とする生徒へのアプローチ

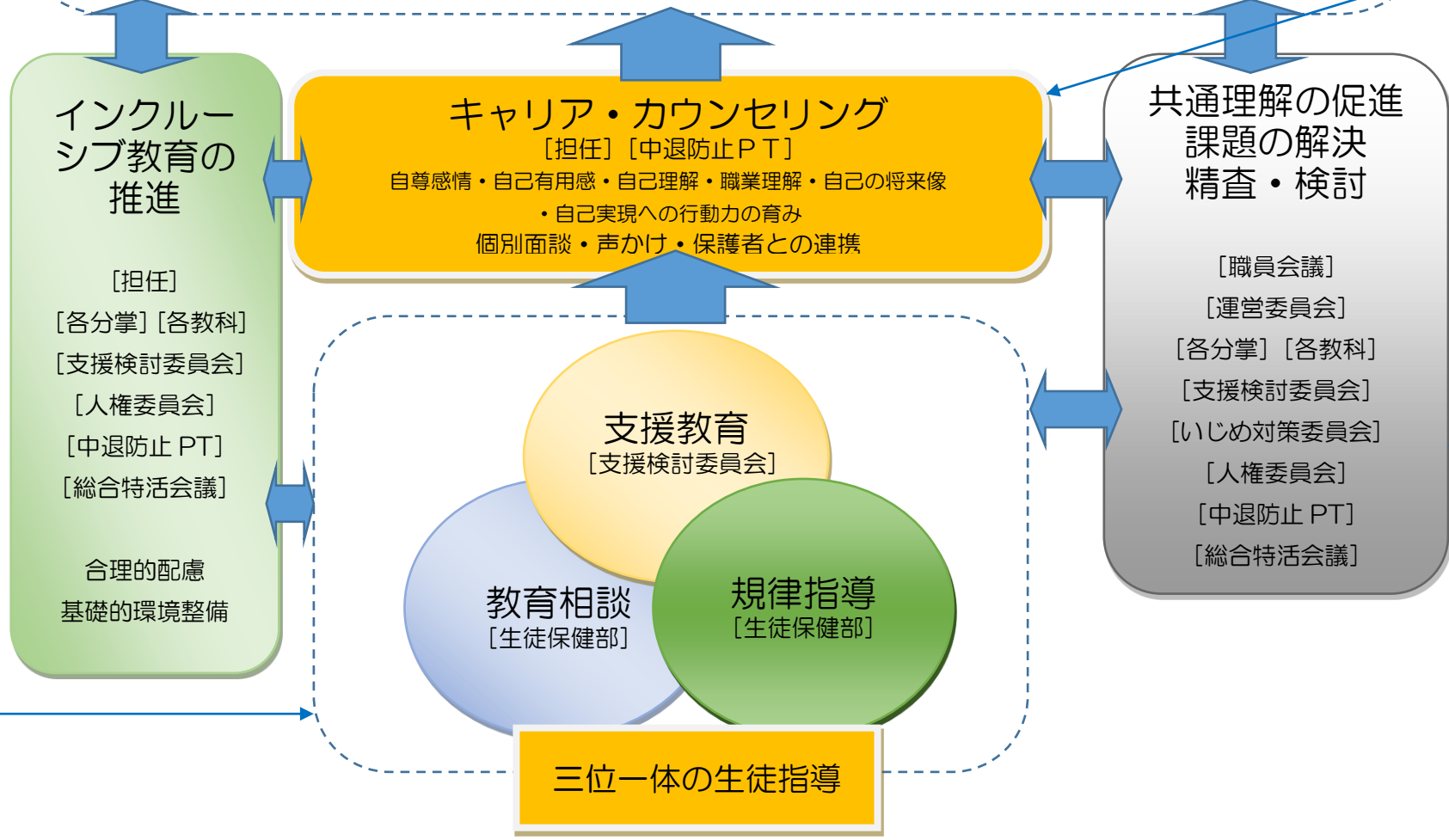
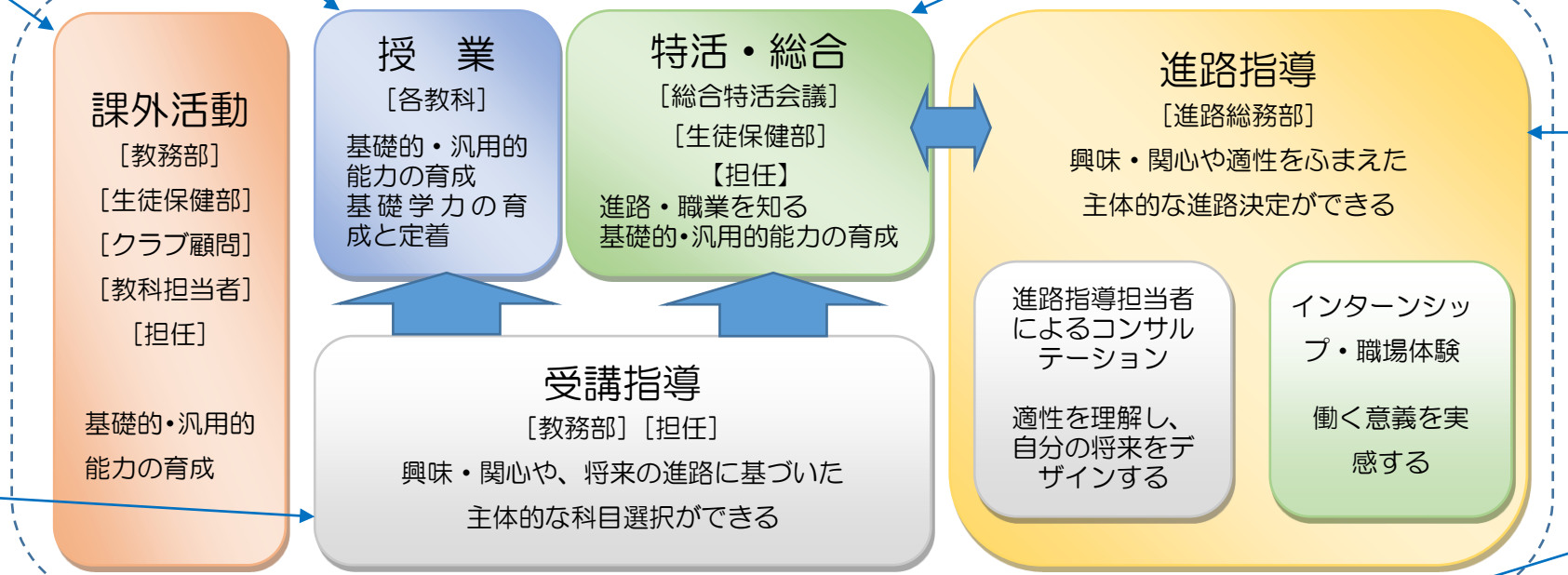
○支援・配慮を要する生徒、就学に困難を持つ生徒の実態把握のための調査  
○ケース会議や外部連携、個別の教育支援計画を活用した生徒の個別支援  
○スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用

高校生活・学校生活への適応のためのサポート

○スクールカウンセラー（SC）による面談  
○個々の生徒の実態に応じた相談・指導・支援

次の社会の形成者としての素養を培う

○公共のルールやマナー、規範意識、規則正しい生活習慣を身につけさせる  
○他者を尊重し互いに認め合う気持ちを育む  
○きめ細やかな個別指導により「キャリア発達」を促す



主体的な判断力を身につけるために

○横断的・総合的な学習を通じて、自己の在り方生き方を考える内容の充実させる  
○キャリア教育の視点で、内容や実施時間の充実をはかる

進路自己実現にむけて

○正しい自己理解と職業観を身につけ、個性に応じた将来の進路を選択し決定できる能力の育成を図る  
○キャリア教育を充実させ生徒一人ひとりの勤労観を育成する  
○就職希望者については卒業後の正規雇用の道につなげる  
○進学希望者については将来を見据えた選択ができるよう支援する

社会的・職業的自立をめざし生徒の成長や発達を促進する

○生徒との人間関係の構築・深化  
○保護者や地域、各種専門機関との連携  
○生徒個人面談・保護者懇談・家庭訪問の実施  
○「生きる力」を育むための日々の教育活動を通じた継続的な働きかけ

全職員で取り組む体系的・系統的なキャリア教育の体制づくり

○キャリア教育推進のための中核組織である「ももだにプロジェクト」（ももフロ）の充実  
○キャリア教育全体計画の作成・実施  
○教職員が共通認識を深められるよう校内研修の計画・実施  
○卒業に向けた支援  
○学校体制づくり